EC フォトアシスタント®　ソフトウェアマニュアル

このたびは、「EC フォトアシスタント」をダウンロードいただき、ありがとうございます。
「EC フォトアシスタント」は、先端の画像処理技術を集め、美しく正確で、消費者を惹きつける商品写真を素早く作るための画像処理ソフトウエアとして開発されました。膨大な写真素材を EC サイト各社のレギュレーションに合わせ背景除去、リサイズ、トリミング等の加工を自動で行います。

1.1 インストール

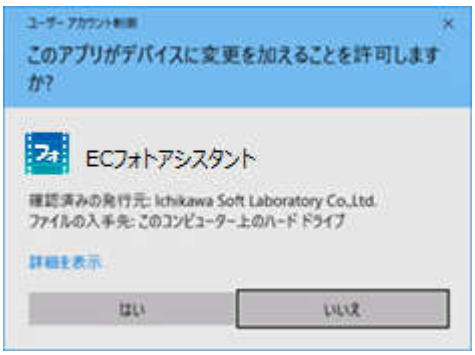
セットアッププログラムを実行すると、本ソフトウエアのインストールが開始されます。
インストールが完了すると、デスクトップに"EC フォトアシスタント"のアイコンが作成されます。

デスクトップに作成された上記アイコンをダブルクリックして起動します。

インストールおよび「EC フォトアシスタント」の初回起動時にはご使用の PC に管理情報を記録するために管理者として処理をおこないます。
続行するにはあなたの許可が必要となります。「ユーザーアカウント制御」のダイアログが表示されますので、以下のいずれかで処理を続行してください。

あなたのアカウントが標準ユーザーの場合（管理者ではない場合）、管理者アカウントのパスワードを入力して[はい]ボタンをクリックしてください。

あなたのアカウントが管理者の場合は[はい]をクリックしてください。
初回起動時の処理は管理者としておこないますが、これらの処理が完了すると「EC フォトアシスタント」は標準ユーザーとして動作します。

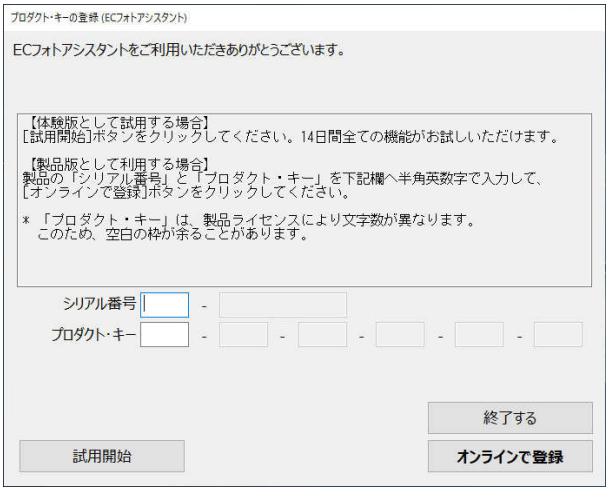


1.2 試用とプロダクト･キーの登録

本ソフトウエアをご利用いただくためには、ライセンスをご購入いただき、ライセンスを登録していただく必要がございます。
また、購入前に機能や画質などをお試しいただくために、一定期間の試用をおこなうことが可能です。

「EC フォトアシスタント」のライセンスを登録していただくことで、永続的に本ソフトウェアをご使用いただけるようになります。

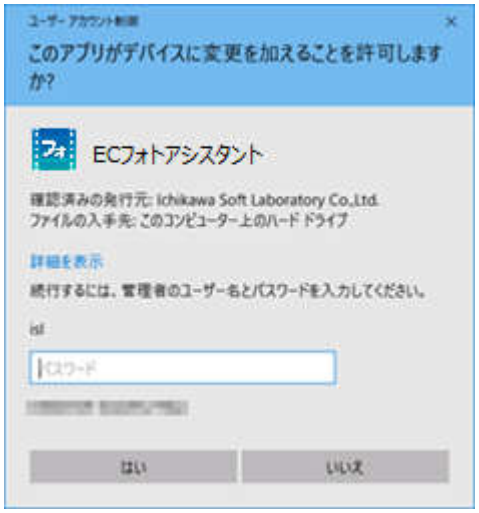
プロダクト･キーの登録にはインターネット経由でサーバーに接続して自動的登録をおこなう「オンライン登録」が必要となります。
※インターネットでの接続は登録時のレジストレーションにのみ必要であり、登録後には接続の必要はありません。



ご注意：ご使用になる PC にプロダクト･キーの登録をおこなった後で、PC の買い替えなどにより本ソフトウエアをご使用になる PC の変更をおこなうことはできません。プロダクト･キーの登録にあたってはプロダクト･キーの有効期限中使用することを前提とした PC で登録を行ってください。ひとつのプロダクト･キーで登録できる PC の台数は 1 台となります。2 台以上の PC でご利用になる場合は、別途ライセンスをお求めください。

インストールおよび「EC フォトアシスタント」の初回起動時にご使用の PC に管理情報を記録するために管理者として処理をおこないます。
続行するにはあなたの許可が必要となります。「ユーザーアカウント制御」のダイアログが表示されますので、以下のいずれかで処理を続行してください。

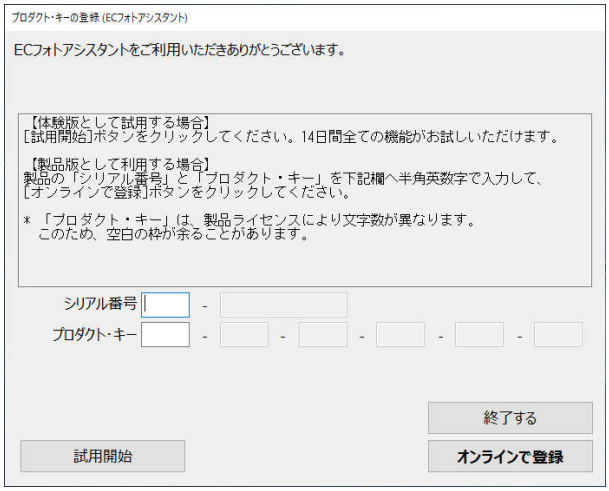
あなたのアカウントが標準ユーザーの場合（管理者ではない場合）、管理者アカウントのパスワードを入力して[はい]ボタンをクリックしてください。



あなたのアカウントが管理者の場合は[はい]をクリックしてください。
初回起動時の処理は管理者としておこないますが、これらの処理が完了すると「EC フォトアシスタント」は標準ユーザーとして動作します。

1.3 ベータバージョンからの継続利用について

ベータバージョンから継続でご利用される場合は、製品版インストーラーを起動することでベータバージョンが製品版に置き換えられます。インストール後、プログラム起動時にプロダクト・キーの登録画面が表示されない場合は、プログラム右上の「設定」ボタンから「プロダクト・キーの登録…」を選択し、プロダクト・キーの登録をおこなってください。

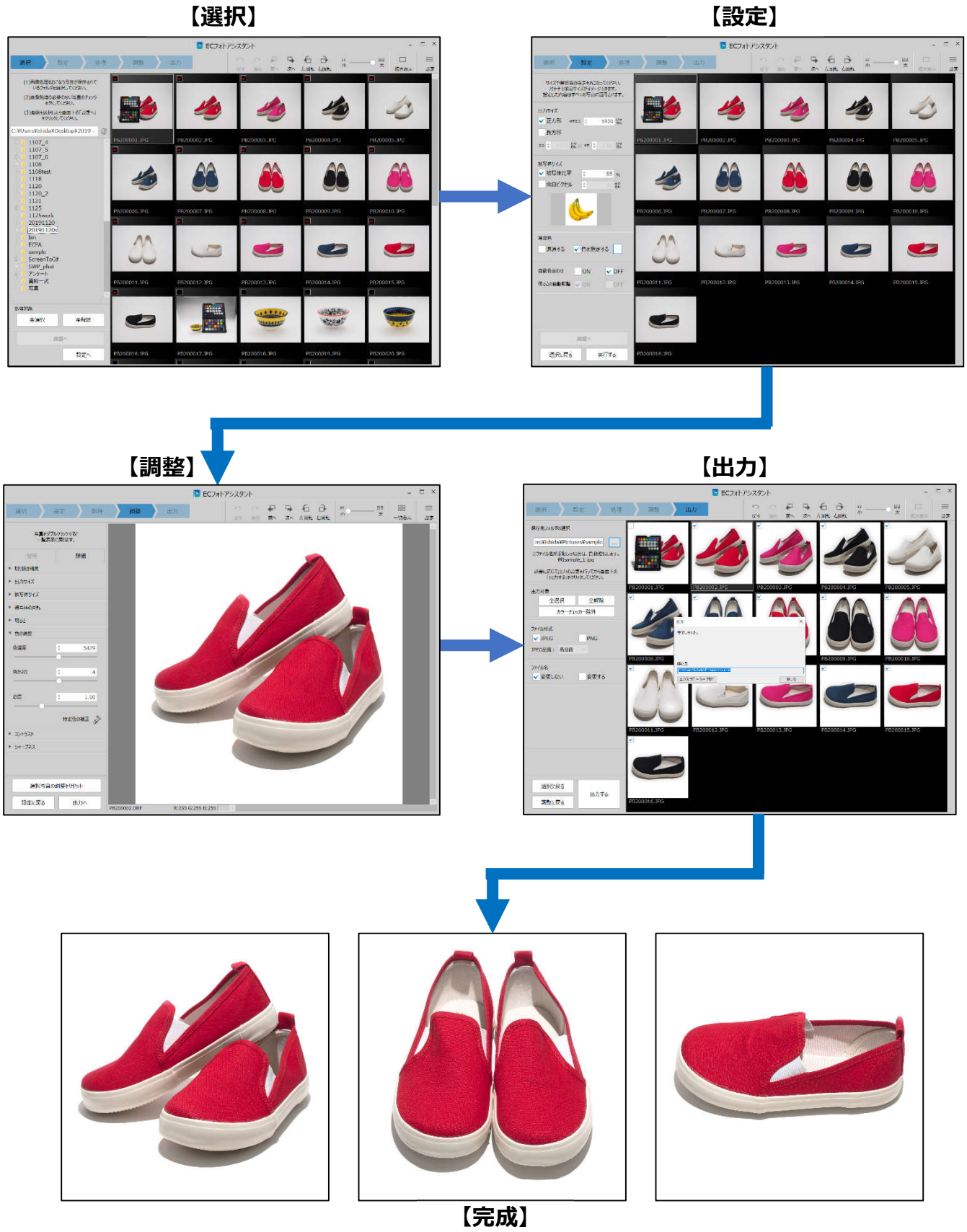


1.4 「プロダクト・キーの登録」に関するトラブル・シューティング

プロダクト・キー登録手続きをおこなうためには、インターネットに接続している環境である必要があります。
ウィルスチェックソフトウェアやセキュリティソフトウェア、パーソナルファイアーウォール等は、インターネットの通信情報を監視し、指定されたソフトウェア以外の通信を遮断するため、本ソフトウェアが認証をおこなう際にエラーが発生する場合がございます。そのような場合は、インターネット通信を阻害するソフトウェアを一時的に無効にしてから登録手続きをおこなってください。ウィルスチェックソフトウェアやセキュリティソフトウェア、パーソナルファイアーウォール等の操作に関しては各ソフトのマニュアル・ヘルプ等を参照してください。

2.1 操作の流れ

「EC フォトアシスタント」は、「選択」→「設定」→「調整」→「出力」の一連の流れで複数の写真の”明るさ”、“コントラスト“、”ホワイトバランス“、”リサイズ”、”切り抜き“を自動で行います。



2.2 写真の撮り方

・撮影背景

白背景を使用して撮影された写真を加工することを前提に設計されています。これにより精度の高い切り抜きを実現しています。高額な撮影キットは必要ありませんが、撮影ボックスや白い背景布 などをご用意の上撮影を行ってください。

・撮影のポイント

- ・純白の背景を使用します。
- ・十分な明るさで、影のないように照明を整えます。
- ・被写体の左右に十分な背景領域を伴って撮影します。
- ・被写体が見切れないようにします。

2.3 写真の撮り方（補足）

「EC フォトアシスタント」は、AI によって ColorChecker®を自動認識して補正値を適用します。商品撮影時の照明の違いを吸収し、照明の違いによる色の揺らぎを防止し、理想的な光源下(D65)で撮影した場合の色に補正します。また、商品の反射率を正確に写真に反映させる諧調補正技術により、色のないグレーさえも的確に補正し、あらゆる商品の正確な色と明るさを表現できます。

・「ColorChecker®」とは、エックスライト社製の写真業界、印刷業界における世界標準のカラーマネージメントツールです。色再現に必要な 24 色の基準色からなる無光沢の正方形カラーパッチから構成されています。ColorChecker®をご使用する場合は、照明条件に合わせて ColorChecker®を撮影してから、次に本番撮影をしてください。「EC フォトアシスタント」では、サムネイル上から AI でカラーチャートの有無を自動で認識し、その後ろに続く写真に自動で補正値を適用しますので照明条件が変わる都度カラーチャートを先に撮影してください。ColorChecker®はエックスライト社 Web サイト https://www.xrite.co.jp/からお買い求めいただけます。

・「RAW データ」とは、デジタル一眼レフやミラーレス一眼、一部のコンパクトデジタルカメラに搭載されている高品位な写真編集を行うための記録形式です。多くのカメラではカメラのメニューの画質設定に「JPEG」と並んで「RAW」モードでも記録できるようになっています。「RAW データ」は、センサーが捉えた光量を、そのまま高い精度で記録しています。これをパソコンの強力な計算能力を用いて映像化することで、カメラ内部の処理よりも高品位な映像を生成することが可能になります。

・色の再現性について

画像ファイル（RAW データまたは JPEG データ）の種類、ColorChecker®の有無により色の下記画像のとおり、色の再現性が変わります。ColorChecker®がない場合は、背景色を白と見なして各種補正を行う為、傾向として実物より明るめの発色となります。忠実な色再現を行うには RAW データ+ ColorChecker®のご使用を推奨します。

未加工JPEGデータ

JPEGデータ自動補正後

JPEGデータ+ColorChecker

未加工RAWデータ

RAWデータ自動補正後

RAWデータ+ColorChecker

2.4 画面の説明「ツールバー」

画面右上に表示されます。

A： 操作の取り消し/やり直し

B： 選択している写真の切替え

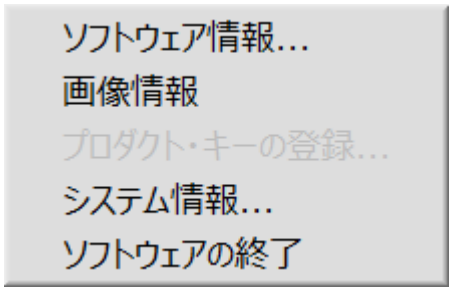
C： 写真の回転

D： 一覧表示の写真の大きさの調整

E： 写真の拡大表示と一覧表示の切り替え※選択中の写真のダブルクリックでも切り替えができます。

F： 各種設定（ヘルプ/ソフトウエア情報/画像情報/システム情報/ソフトウエアの終了）

2.5「設定メニュー」



[ソフトウエア情報…]：本ソフトウエアのバージョン情報、使用期限を表示します。

[画像情報]：選択されている写真の EXIF 情報を表示します。

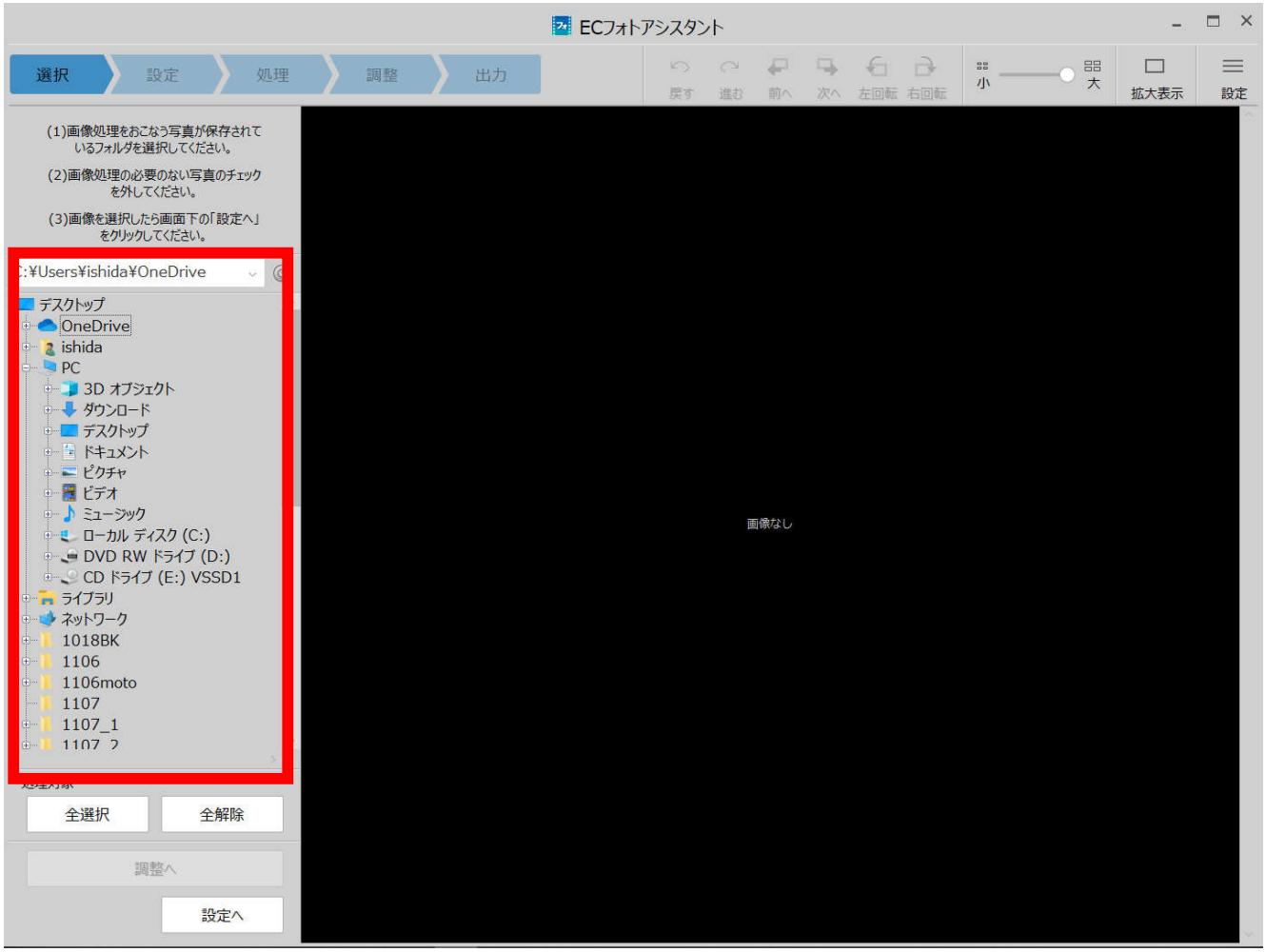
[プロダクト・キーの登録]：プロダクト・キーの登録を行います。※インターネットに接続します。

[システム情報…]：コンピューターのシステムの情報を表示します。

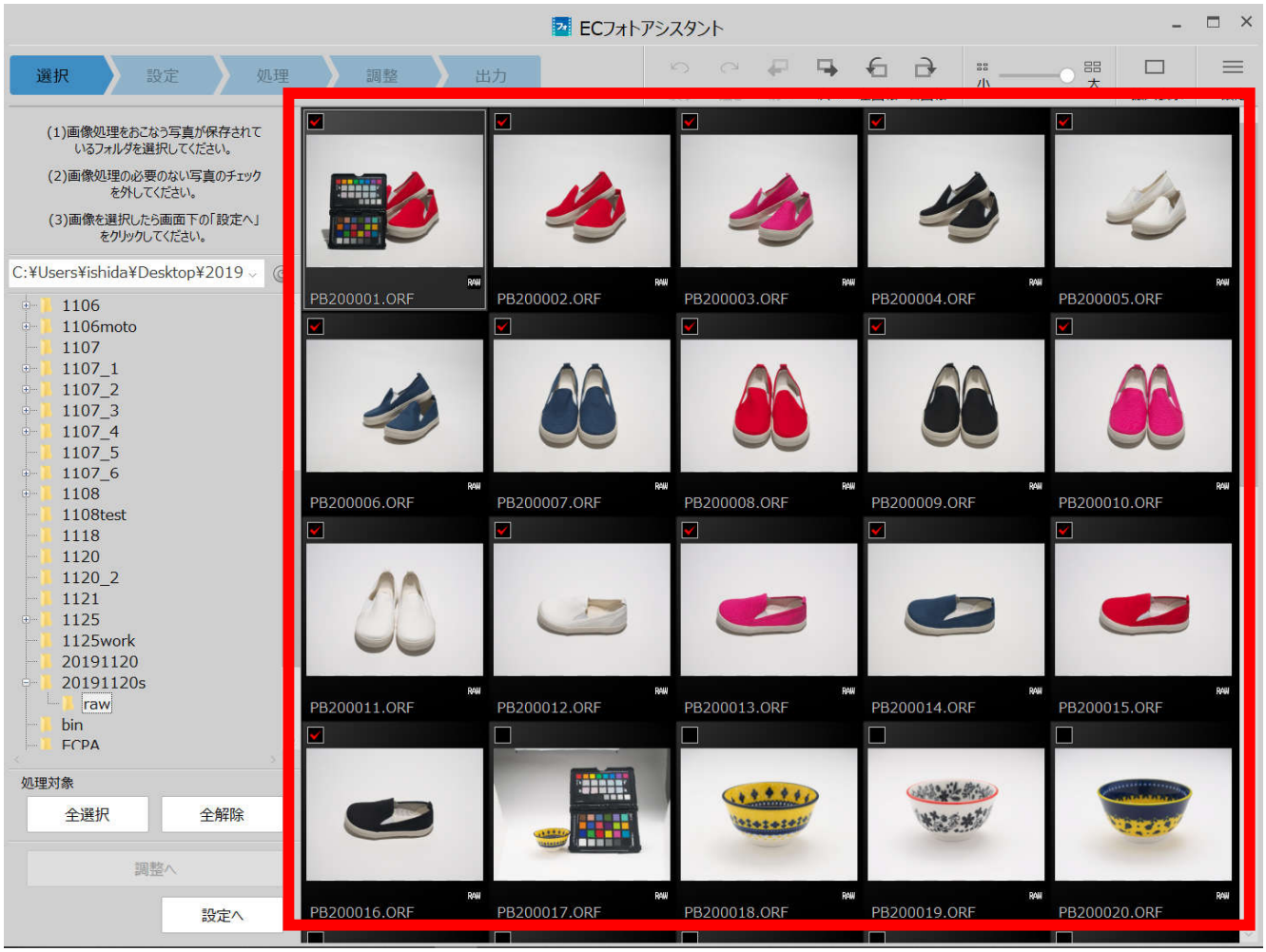
[終了]：「EC フォトアシスタント」を終了します。

2.6【選択画面】

・画面左側のフォルダツリーから画像処理を行う対象ファイルのあるフォルダを選択します。



・フォルダを選択すると画面右側のプレビューエリアに写真が一覧表示されます。

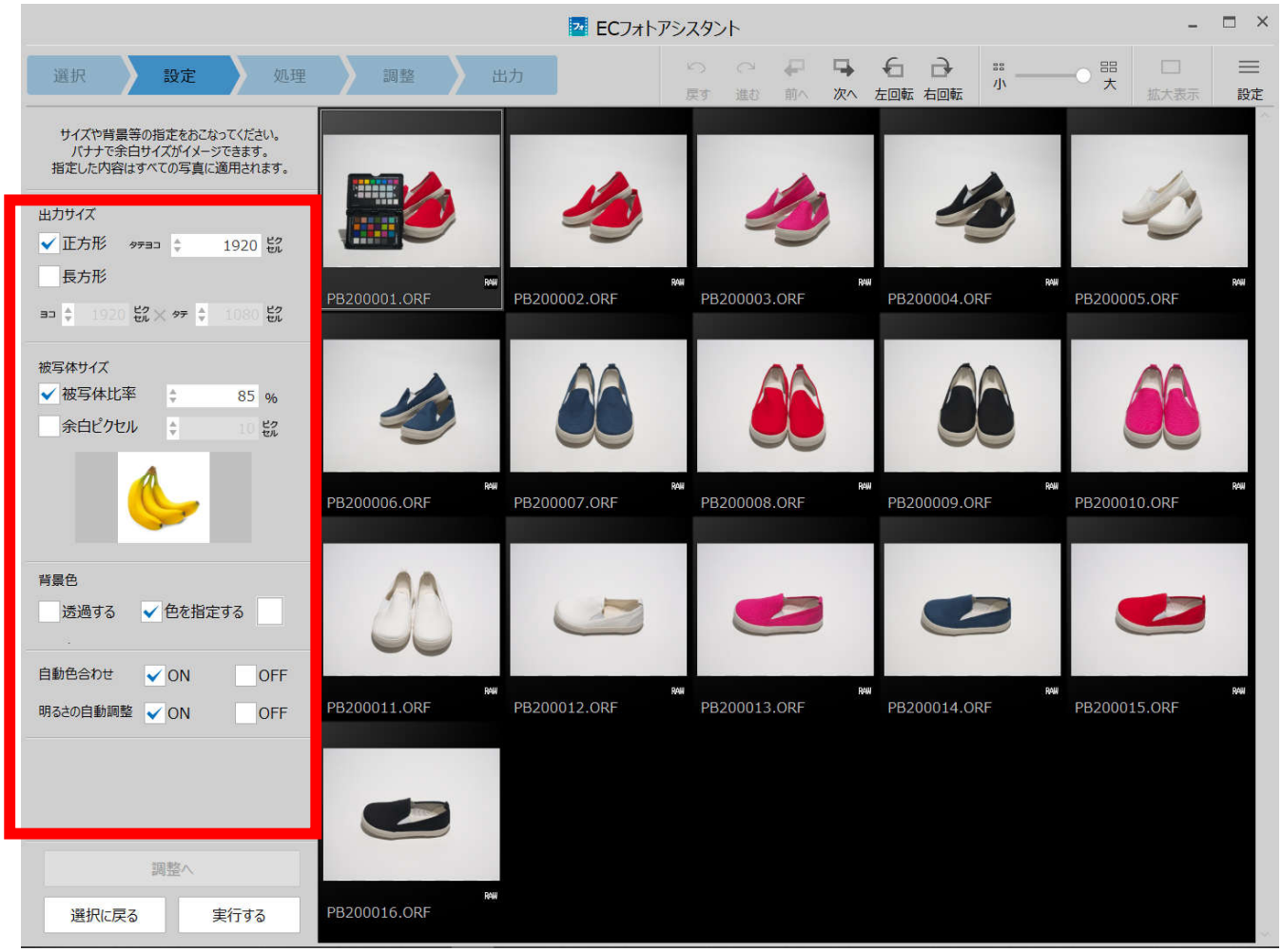


・初期状態はフォルダ内のファイルがすべて選択されている状態ですので必要に応じて「全解除」ボタンで選択が解除できます。

・一覧表示画面の補足

一覧表示画面の写真左上角のチェックボックスの ON/OFF で画像処理を行う写真の切替えが行えます。

3.1【設定画面】



・出力サイズ：出力する画像のサイズを指定します。

・被写体サイズ：背景に対する被写体の大きさを比率か、余白からのピクセル数で指定が行えます。

・背景色：被写体を切抜いた後の背景の色の指定が行えます。

※背景色の透過を選んだ場合は画像を出力する際に PNG 形式をお選びください。

・自動色合わせ：自動で色の調整を行うか行わないかを選択できます。

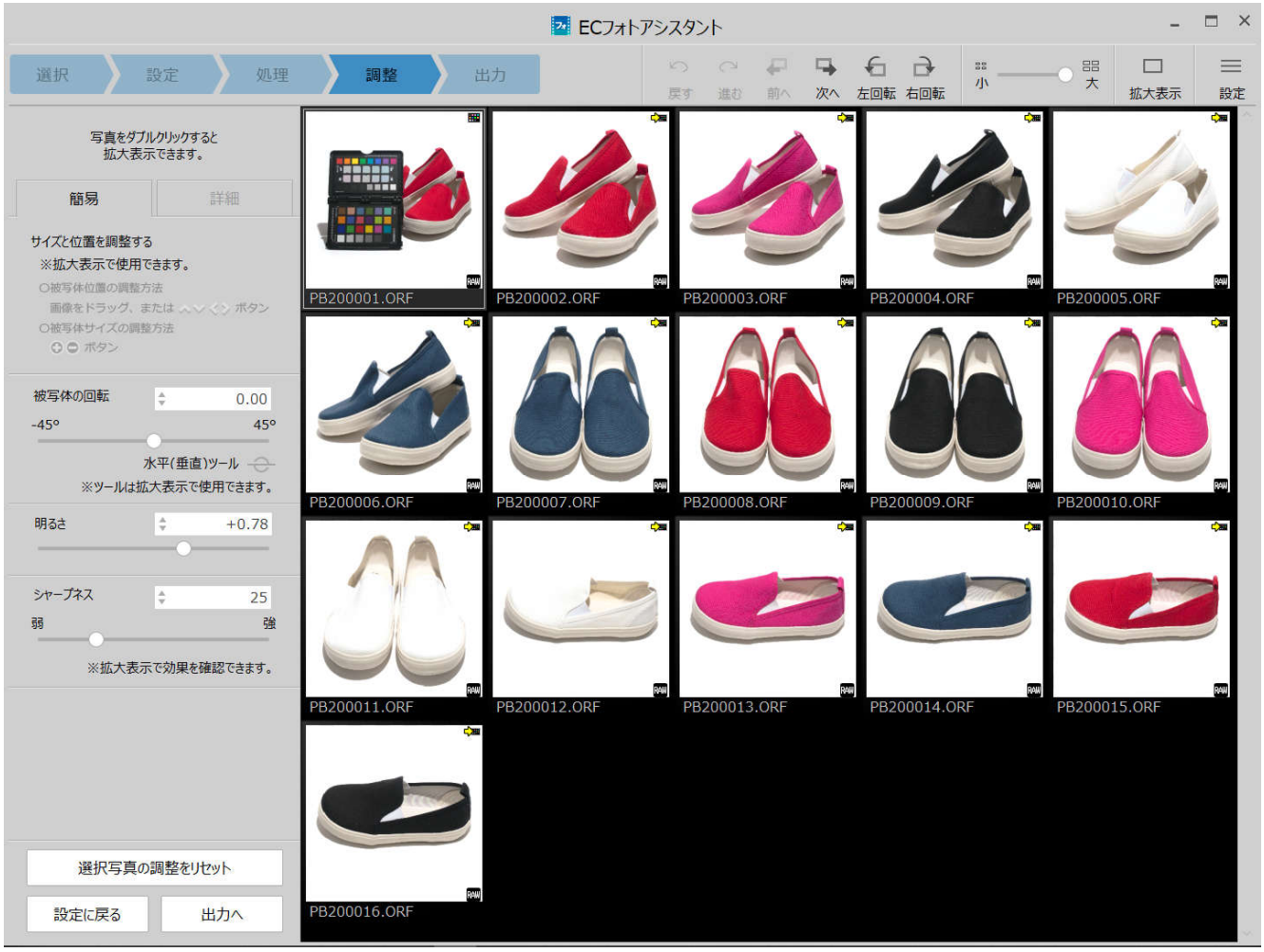
・明るさの自動調整：自動で明るさの調整を行うか行わないかを選択できます。※AI カラーマッチングを行う場合「自動色合わせ」にチェックを入れてください。

「実行する」をクリックすると切抜き処理を行います。

※選択した写真の枚数、大きさによっては処理に時間が掛かる場合があります。

「選択に戻る」をクリックすると選択画面に戻って写真の選択をやり直すことができます。

4.1【調整画面】(簡易調整)



・被写体の回転：選択した画像内の被写体の回転が数字またはスライダーで行えます。選択した画像をダブルクリックするかツールバーから拡大表示にすると水平（垂直）ツールが使用できます。拡大表示されている画像の中の水平もしくは垂直と思われる箇所にドラッグで補助線を指定してください。また、ドラッグまたは矢印での被写体の移動や"＋"、"－"での拡縮が行えます。

・明るさ：画像の明るさを個別に調整ができます。

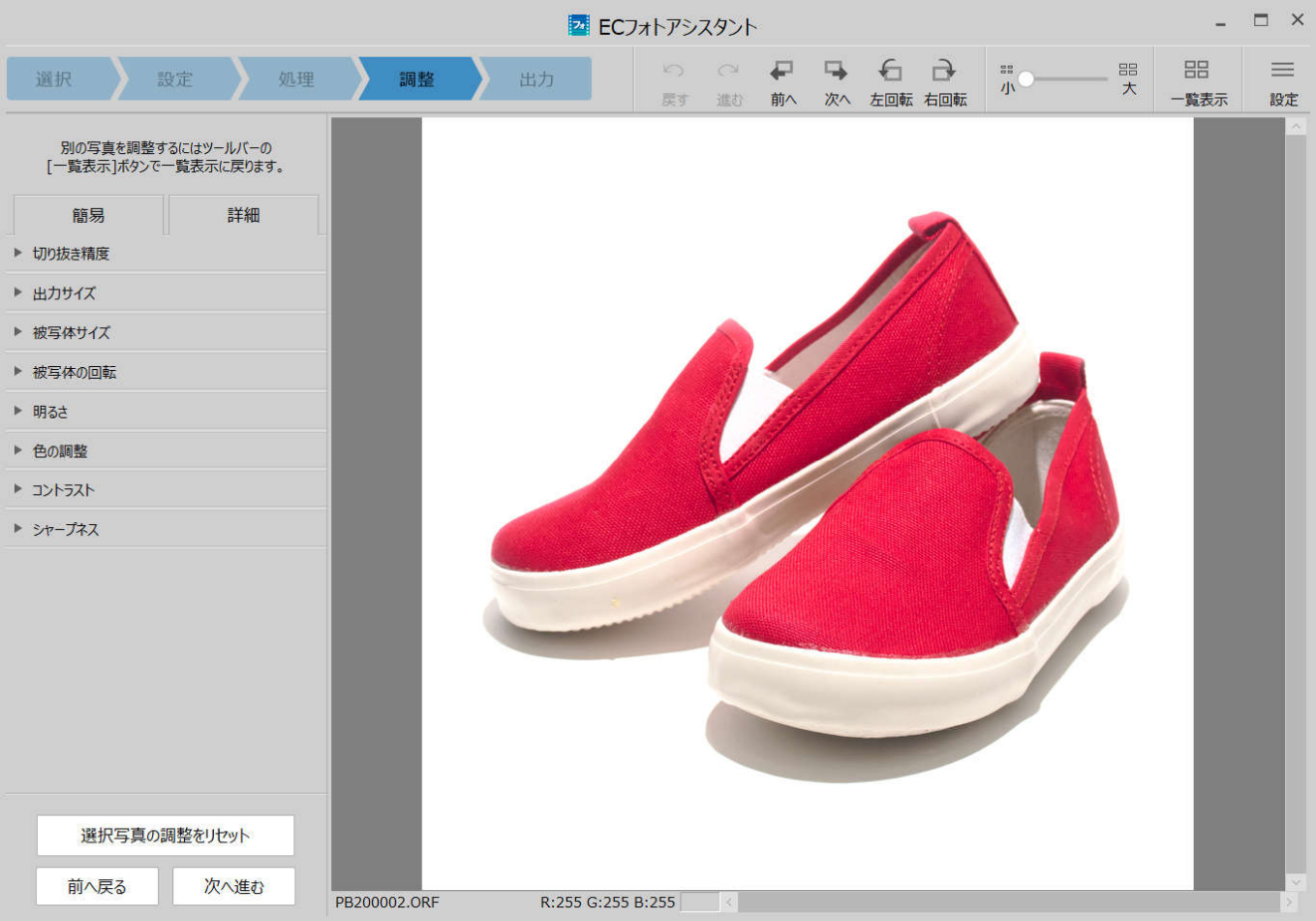
・シャープネス：シャープネスの強弱を個別に行えます。(シャープネス結果は一覧表示では確認することができません。拡大表示で効果をご確認ください。)

「選択写真の調整をリセット」をクリックすると選択中の画像を調整前の状態に戻します。

「出力へ」をクリックすると「出力画面」に進みます。

「設定に戻る」をクリックすると「設定画面」に戻ります。

4.2【調整画面】(詳細調整)



4.3 切り抜き精度

個別の画像について背景色の再設定やマスク処理を使った切り抜き部分の輪郭の補正が行えます。

・背景色の再設定

透過/色の指定が行えます。

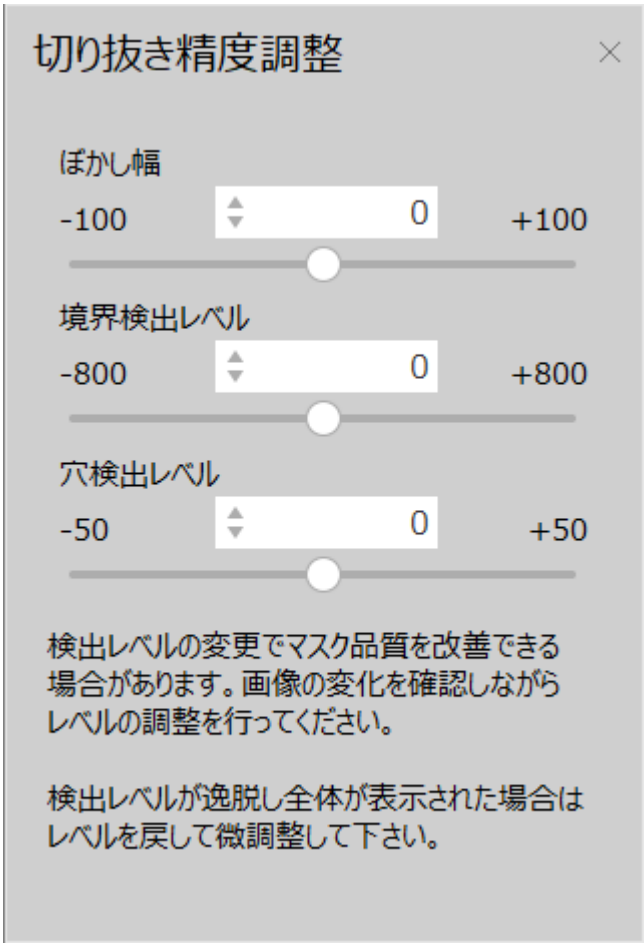
・切り抜き精度の調整

自動処理で出来てしまった”中抜け”や被写体と背景の輪郭の切り抜き精度をスライダー操作で自動調整します。

「ぼかし幅」被写体と背景の間のぼかし幅を調整できます。

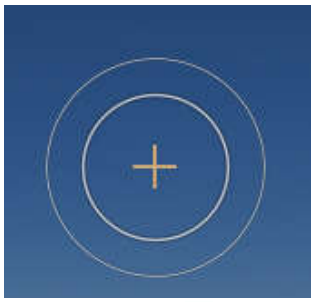
「境界線検出レベル」被写体と背景の境界を調整できます。検出レベルが高すぎると被写体の背景との近似値が背景色となっていますので適正な範囲にスライダーで調整します。

「穴検出レベル」被写体の中抜けしてしまった箇所や中抜きしたい箇所をスライダーで調整できます。



・マスク処理

プレビュー上で二重円のカーソルが表示されます。
内側の円は効果が十分にかかる範囲を示しており、外側の円は効果が薄くなっていく範囲の目安を示しています。



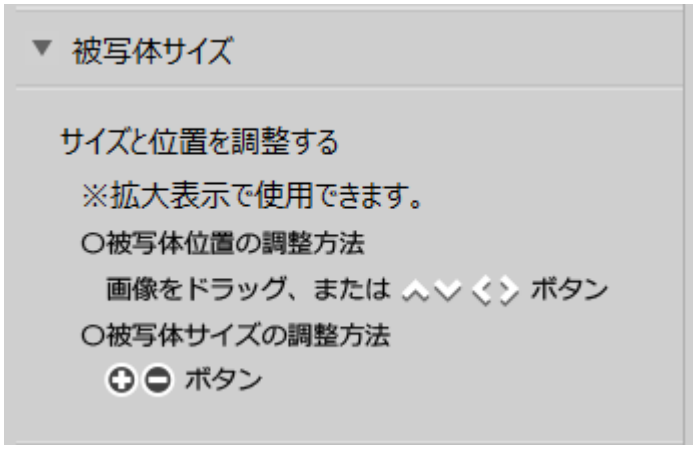
補正したい領域に合わせて「ブラシサイズ」と「ぼかし量」をあらかじめ設定し、プレビュー上をドラッグしてブラシの描画をおこないます。
描画された範囲は青色で表示されます。
消しゴムで既に描画されているブラシの一部を削除することもできます。

4.4 出力サイズ

個別の画像に対して出力サイズの再設定が行えます。

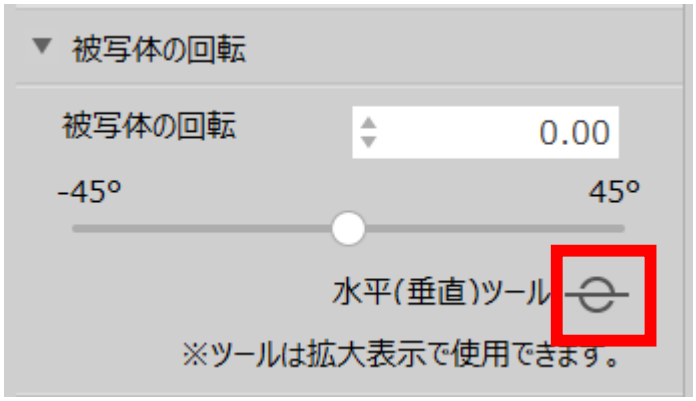
4.5 被写体サイズ

個別の画像に対して被写体サイズの再設定、移動が行えます。被写体表示は拡大表示でお使いになれます。



4.6 被写体の回転

個別の画像に対して被写体の回転が行えます。
数値やスライダーでの指定と拡大表示画像上の水平線または垂直線を指定する「水平（垂直）ツール」で視覚的に回転角度を調整することもできます。
水平（垂直）ツールは、回転角度を指定するのではなく、画像上の水平線または垂直線を指定することによって、視覚的に回転角度を調整するツールです。
プレビュー画像の中の水平もしくは垂直と思われる箇所にドラッグで補助線を指定してください。
指定した補助線が水平または垂直となるように自動的に回転角度が設定されます。



4.7 明るさ

画像の輝度を調整します。

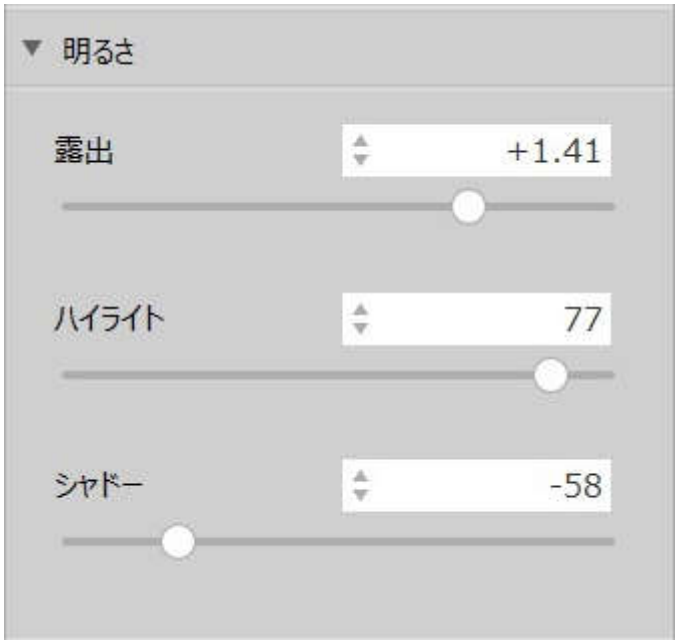
露出は、画像全体の輝度を調整します。

画像全体が暗すぎたり、明るすぎるような場合、適切な明るさに調整できます。

ハイライト・シャドーは、画像の明るい部分と暗い部分の輝度を、それぞれ調整します。

「EC フォトアシスタント」では、画像を解析して明るい部分と暗い部分を自動的に識別します。

暗くて見えない部分を明るくして見えるようにしたり、飛んでしまっている階調を復元することができます。

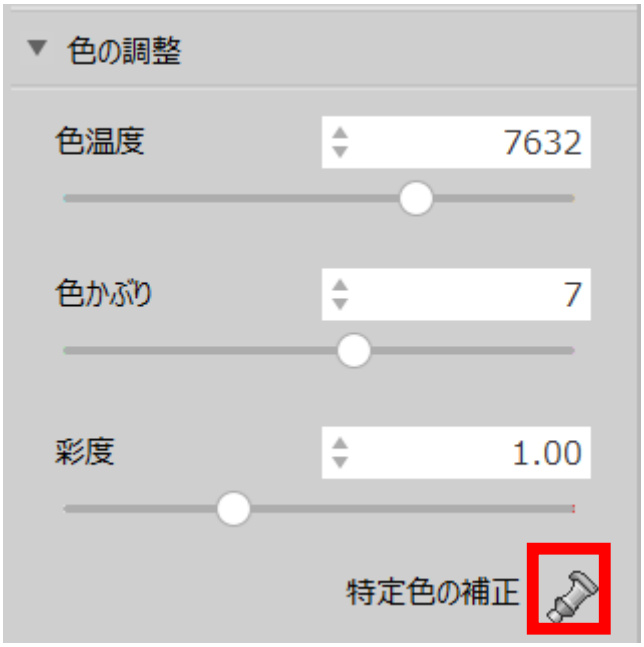


4.8 色の調整

色温度を指定してホワイトバランスをします。

スライダーを動かして、被写体の色味がうまくバランスする点を探します。 被写体が赤または黄色みがかっている場合には、色温度を小さく(低く)する側にスライダーを動かします。 被写体は青みがかっている場合には、色温度を大きく(高く)する側にスライダーを動かします。

色かぶりスライダーは、色かぶりを取るために使用します。まず色温度を合わせてから使用してください。 被写体が緑かぶりしている場合には、右側にスライダーを移動します。 被写体がマゼンタかぶりしている場合には、左側にスライダーを移動します。

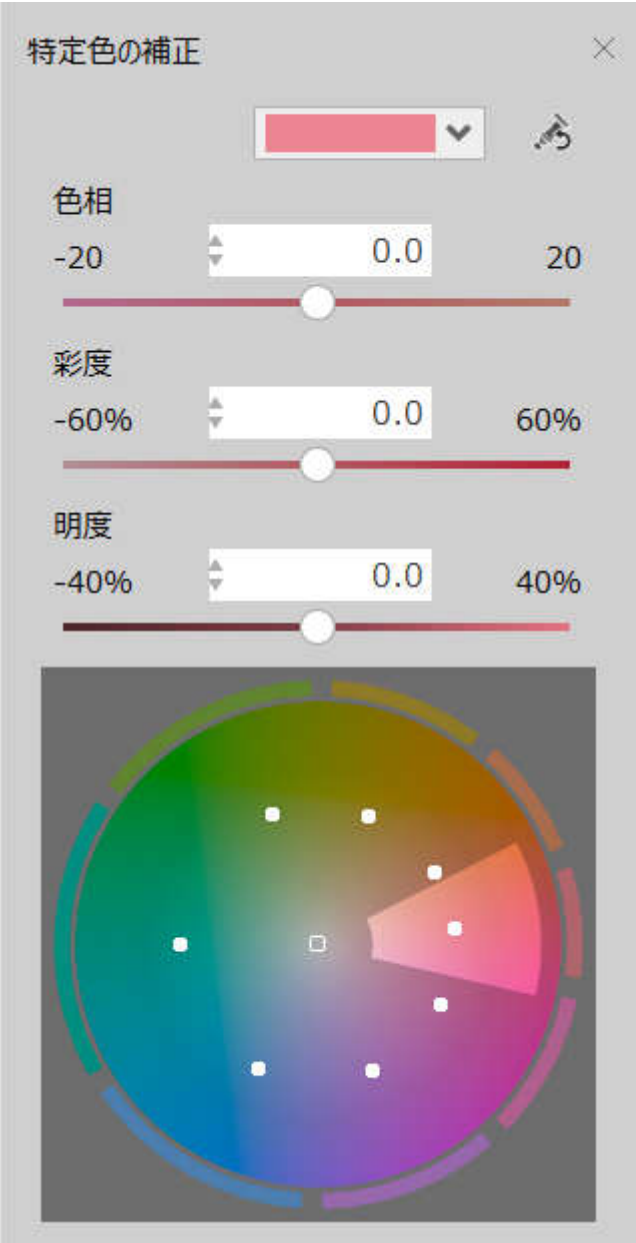


低温

自動

高温

特定色の補正は、色を強調表示したり、逆に控えめにしたり、変色させたりする色の変形ツールです。
カラーサークルは、色を８つの色相に分けて、それぞれの色相ごとに色を調整する機能を提供します。
コントロール上に表示されているカラーサークルの色相表示は色度図を白点中心に配置したもので、色は時計の３時の位置から時計回りに以下のように配置されています。



色名
赤(Rose red)
紫(Purple)
群青色(Ultra marine blue)
水色(Turquoise)
青緑(Blue-green)
緑(Green)
黄緑(Yellow-green)
オレンジ(Golden yellow)

このカラーサークルの色配置は、カラーサークルの中心から遠くなるほど彩度が高くなるように、かつ、人間の感覚に対してできるだけ均等に色を配置した均等色空間となっています。
カラーサークルは８つの色相のブロックに分割されており、それぞれのブロックの中に１つずつの操作点があります。
８つのブロックのいずれかをクリックすると、操作対象となる色相が選択されます。

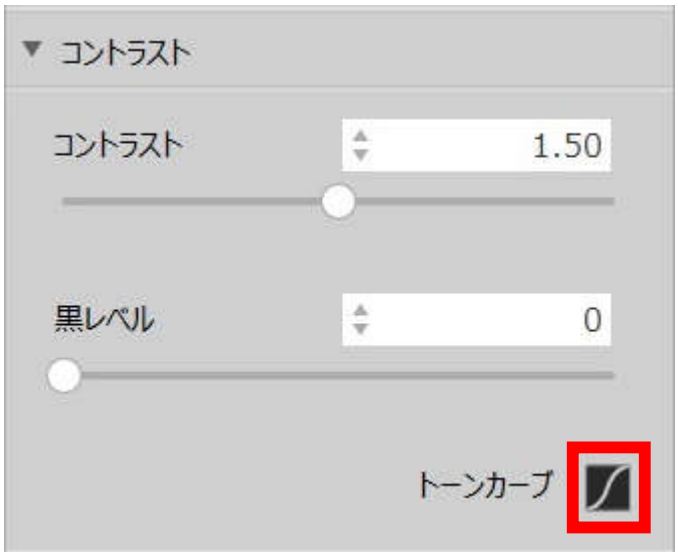
操作対象の色相のブロックは、その境界線が強調表示されます。
各ブロックの中にある操作点は、マウスでドラッグするか、もしくはマウスホイールで移動することができます。
いずれの操作方法でも、円周に沿った方向の移動は「色相」パラメータと連動し、カラーサークルの中心点からの距離は「彩度」パラメータと連動します。

色相
色相をどのくらい変化させるかの設定です。
基準点から反時計回りの角度で設定します。

彩度
カラーサークルの中心から基準点までの距離を 100%とした場合の割合を設定します。 -20%にすると、操作点は 20%中心に移動し、彩度を低くします。20%にすると、操作点は 20%外側に移動し、彩度を高くします。

明度
基準点の明度を100%とした場合の割合を設定します。-20%にすると、明度を20%低く、20%にすると、明度を20%高くします。

4.9 コントラスト

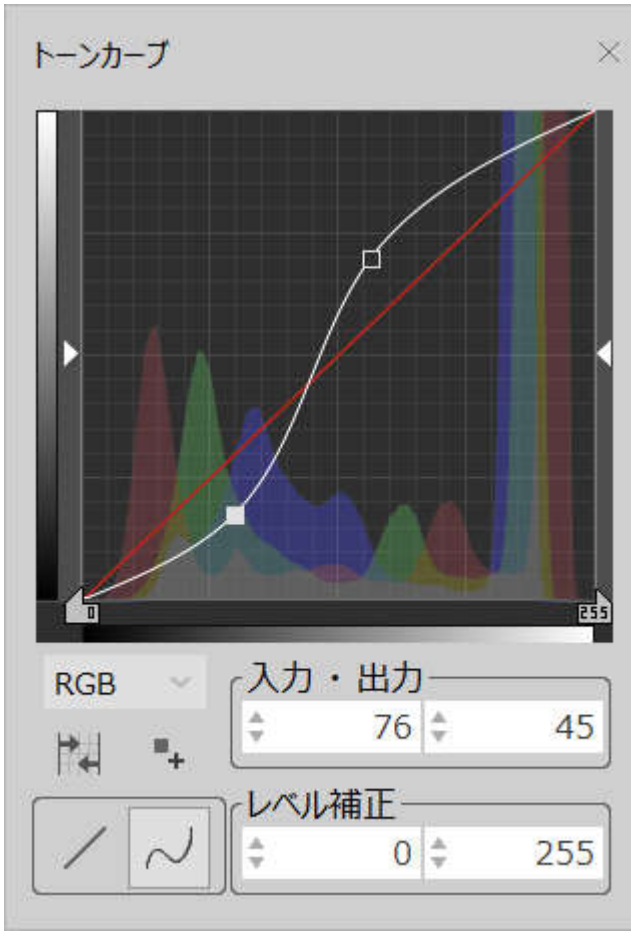


個別の画像に対してコントラスト、黒レベルの調整が行えます。

コントラストとは、明るい部分と、暗い部分の対比という意味を持ちます。 コントラストを強くすると、明るい部分がより明るくなり、暗い部分はより暗く表現されることになり、硬調になります。 逆にコントラストを弱くすると、明るい部分と、暗い部分の差が小さくなり、軟調になります。

黒レベルは、暗い部分を引き締める効果があります。

黒として表現するレベルを指定するもので、このパラメータを大きくすると黒が締まります。



「トーンカーブ」は、他の補正の調整が終わった上での調子表現の微調整や、効果を与えるための明度変換をおこなうためのツールです。

横軸が入力(元画像の輝度)、縦軸が出力(変換後の輝度)となっています。

トーンカーブは、構成点を通過するように描かれ、その構成点を操作することでトーンカーブを操作します。

選択されている構成点の情報は、「入力・出力」コントロールに表示されます。

このコントロールで値を編集するか、もしくはトーンカーブ上の構成点をドラッグして、構成点を移動させることができます。

・チャネル選択：処理対象のチャネルを選択します。

R、G、B、L のそれぞれトーンカーブでおこなった設定を反映した後に、 RGB のトーンカーブでおこなった設定が反映されます。

・構成点追加：トーンカーブの構成点追加モードに切り替えます。

プレビュー表示上でクリックした点が、トーンカーブの構成点として追加されます。[Ctrl]キーを押しながらクリックすると、RGB、R、G、B、L すべてのトーンカーブ上に構成点が追加されます。

・直線：トーンカーブを構成点の直線補間で作成します。

・曲線：トーンカーブを構成点の曲線補間で作成します。

・入力・出力：選択されている構成点の座標を編集します。

・レベル補正：レベル補正の入力範囲を編集します。

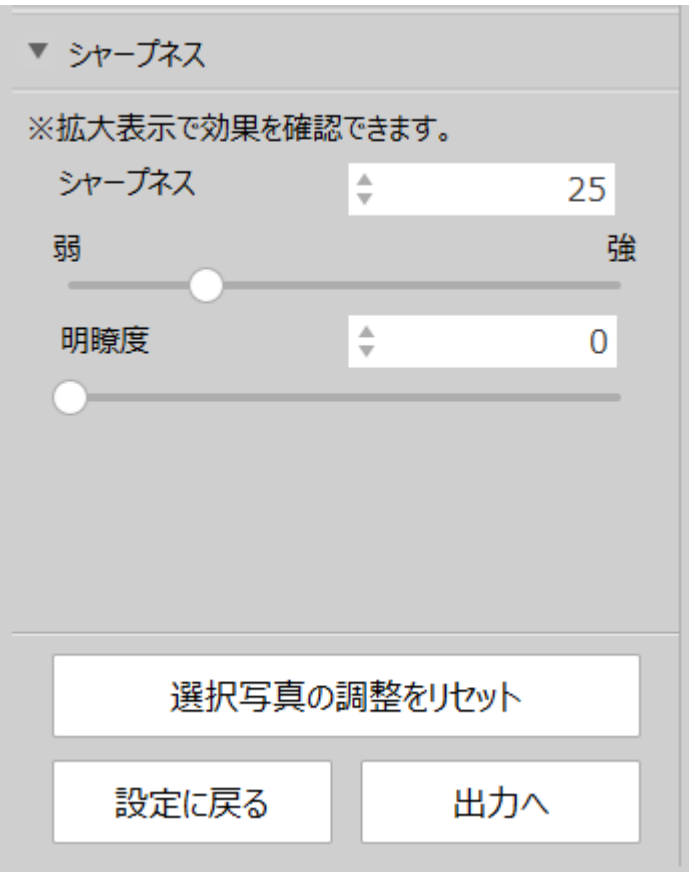
・自動レベル補正

現在選択中のチャネルのレベル補正を自動で調整する機能です。

画像のヒストグラムを認識し、シャドー、ハイライトを適切な割合となるようレベル補正を調整します。

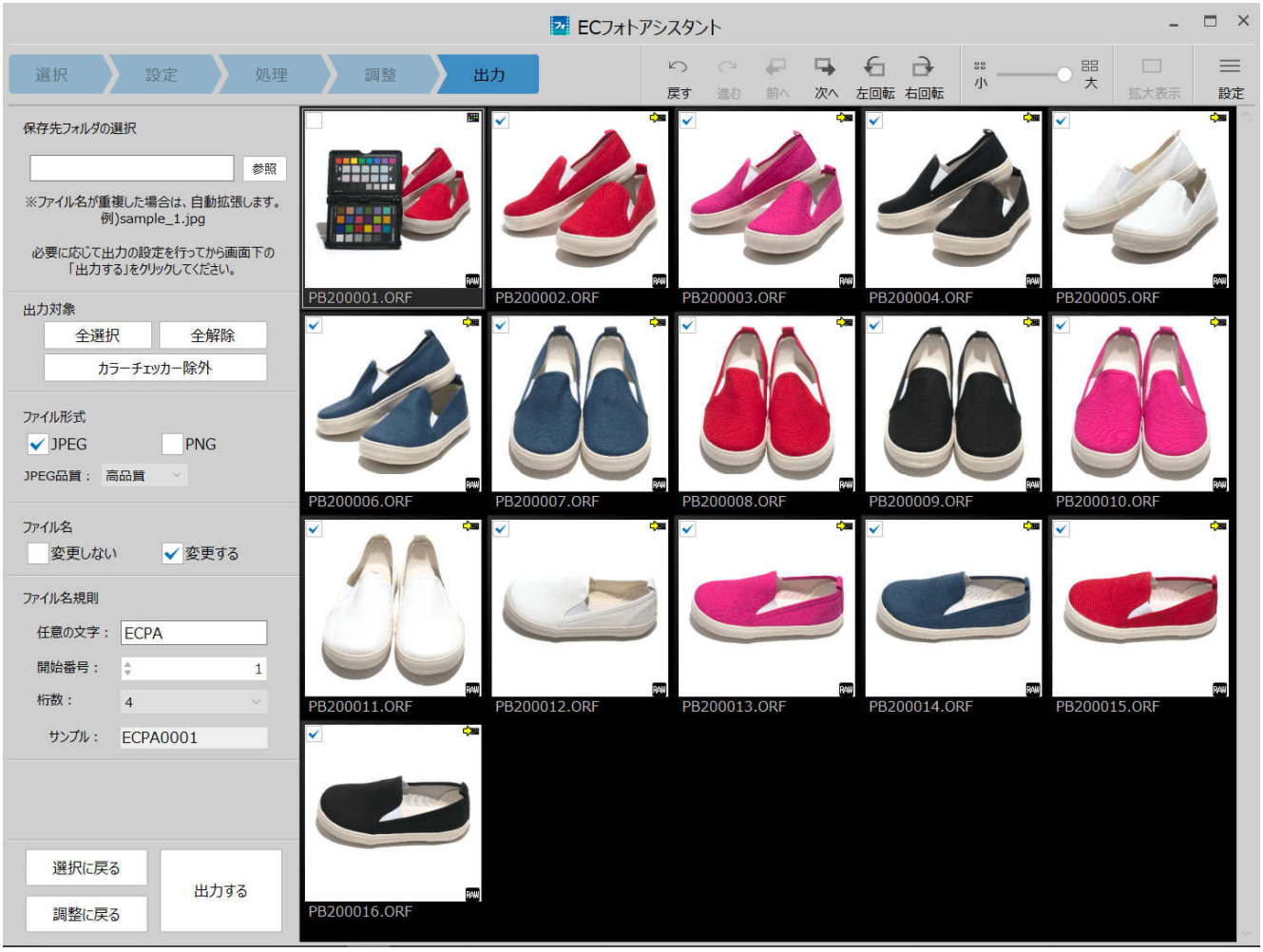
4.10 シャープネス

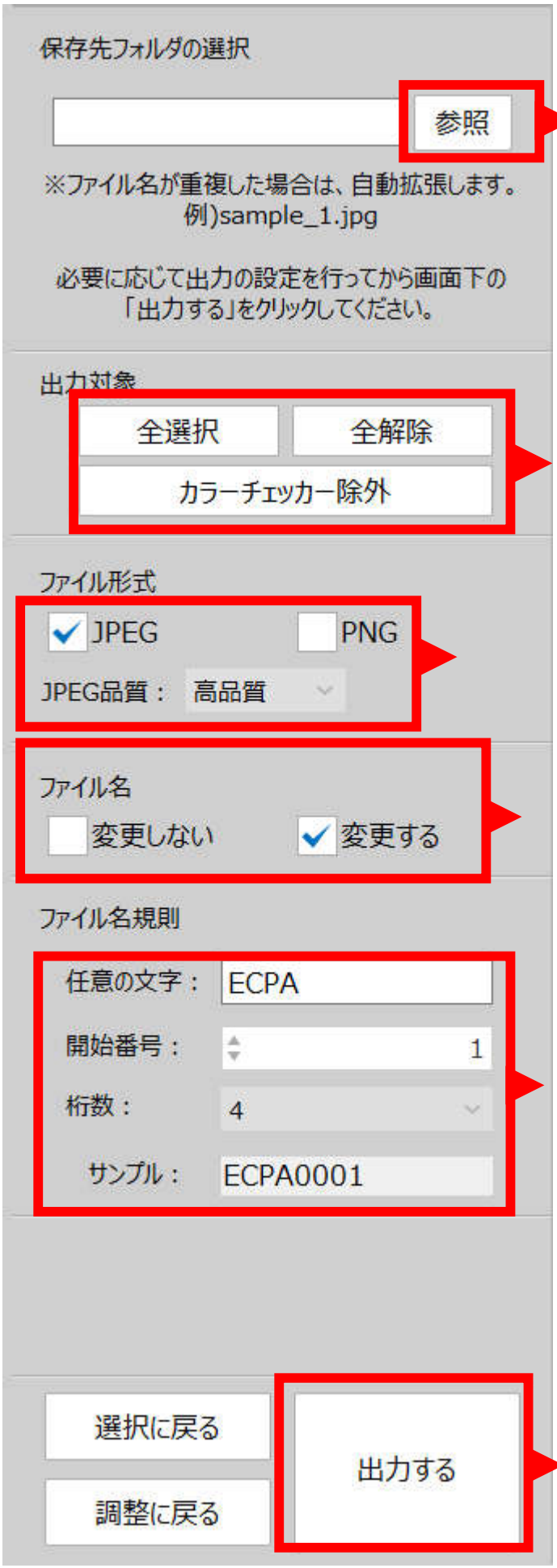
個別の画像に対し、シャープネスの強弱、明瞭度の調整が行えます。(シャープネス結果は一覧表示では確認することができません。拡大表示で効果をご確認ください。)



「選択写真の調整をリセット」をクリックすると選択中の画像を調整前の状態に戻します。
「出力へ」をクリックすると「出力画面」に進みます。
「設定に戻る」をクリックすると「設定画面」に戻ります。

5.1【出力画面】





フォルダツリーが開きますので保存先となるフォルダを指定します。

出力対象を指定します。サムネイル上のチェックボックスの ON/OFF の切り替えで 1 画像ずつの指定も可能です。カラーチェッカーを使用した場合、カラーチャートの画像を出力対象から除外できます。

保存形式は JPEG 形式、PNG 形式を指定可能です。
※背景を透過にする場合は PNG 形式をお選びください。
JEPG 形式の品質は 3 段階から指定可能です。

ファイル名を「変更しない」場合は拡張子の変更、ファイル名の重複がある場合は自動拡張（etc.”ファイル名_1”）されます。
「変更する」を選ぶとファイル名規則の設定が行えます。

ファイル名に任意の文字が指定できます。桁数と開始番号を指定しての数字を連番で指定することもできます。

「出力する」をクリックすると指定した形式でのファイルの出力を開始します。※選択した画像の枚数、大きさによっては処理に時間が掛かる場合があります。

「選択に戻る」をクリックすると「選択画面」に戻ります。
「調整に戻る」をクリックすると「調整画面」に戻ります。